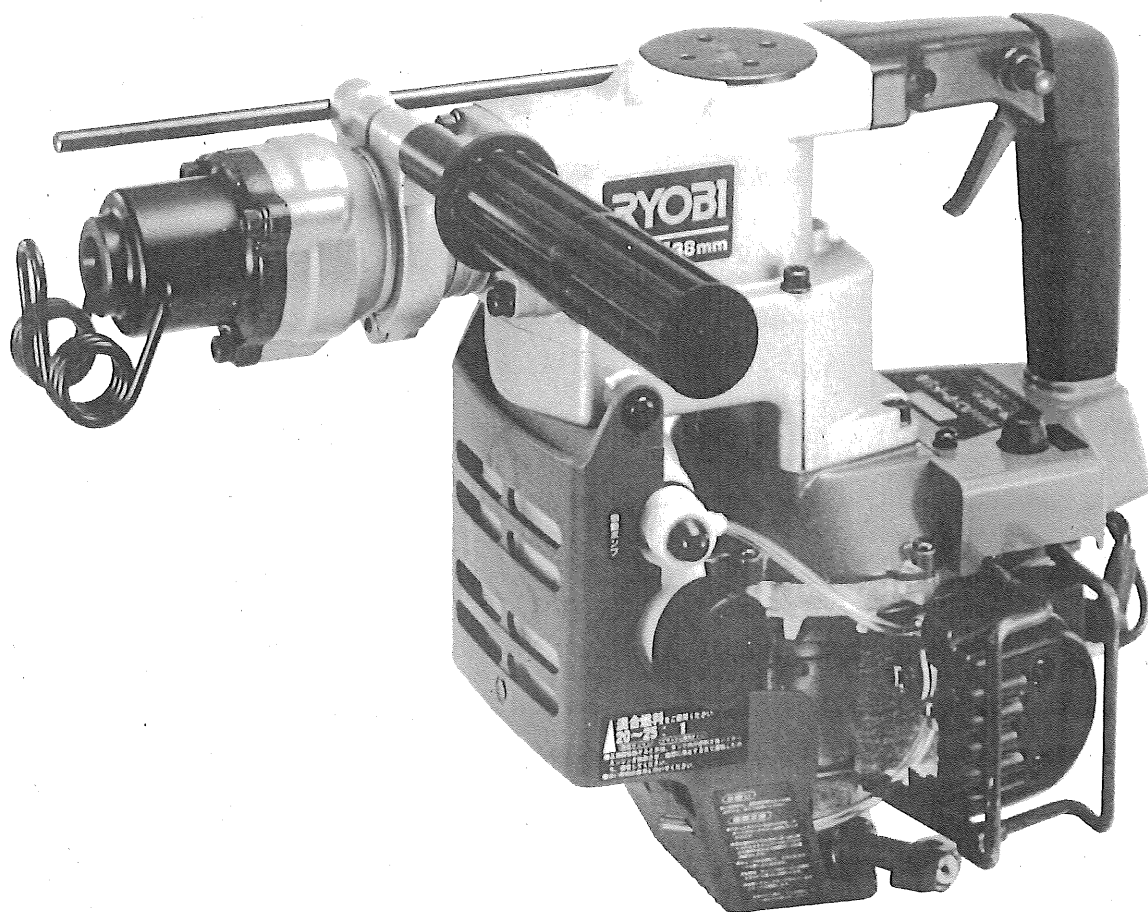




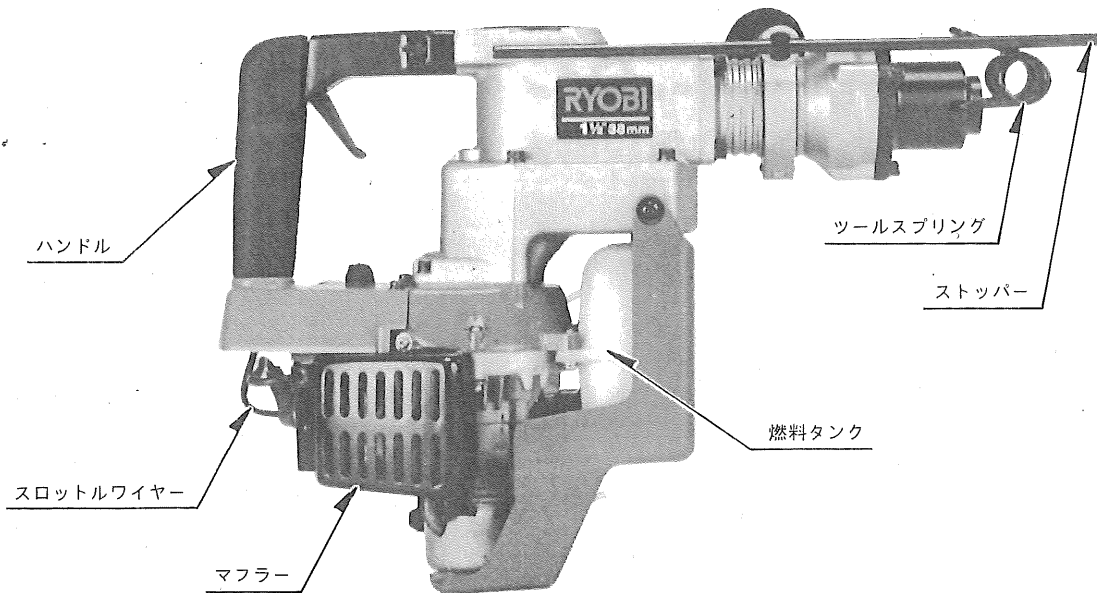
エンジンハンマードリル

取扱説明書 ER-382



ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用下さるようお願いいたします。

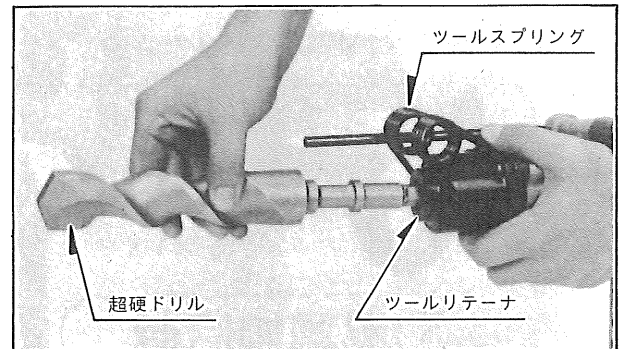
各部



使用準備

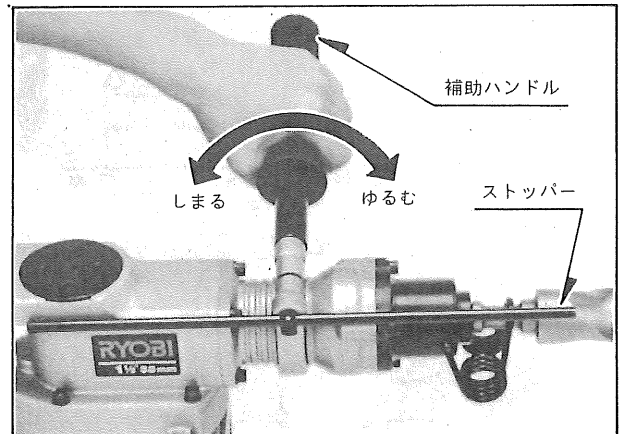
○超硬ドリルの装着（特別附属品）

- ・超硬ドリル六角部をツールリテーナの六角穴に合せて止まるところ迄差し込み、ツールスプリングで抜けのない様に取り付けて下さい。
- ・各種ビットの装着時、ビットのシャンク部にグリス又は、オイルを少量塗布して下さい。



○補助ハンドルの位置調整

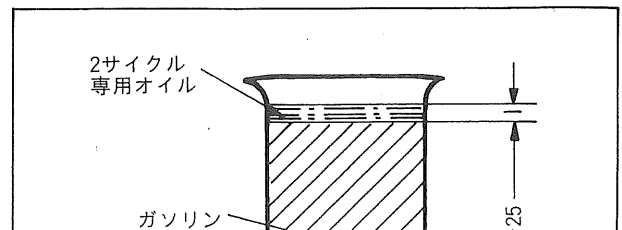
- ・補助ハンドルは作業姿勢に合わせて360度の角度調整が出来ます。
- ・角度調整は補助ハンドルをゆるめた後、作業姿勢に合わせた角度調整を行い、補助ハンドルを締付けて下さい。



運 転

○燃料

- ・ガソリンと2サイクル専用オイルをまぜた混合燃料です。
- ・ガソリン20～25に対し、専用オイルを1の割合で混合して下さい。
- ・2サイクル専用オイル及び指定された混合比以外の燃



いけません。

〈ご注意〉

購入後2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので新しい燃料をご使用下さい。

○始動 周囲に障害物がないことを確認して下さい。

(1)燃料を燃料タンクに入れて下さい。

(2)プライマー操作を行います。

片手でティクラボタンを一ぱい押したまま他の片手でプライマーポンプを数回押して、オーバーフローパイプから燃料のあふれるのを確認します。

〈ご注意〉

ティクラボタンを一ぱい押さないと燃料がシリンダ内に流入し、吸い込みすぎとなり、始動不良になることがありますのでボタンは止まるまで一ぱい押して下さい。

(3)チョークレバーを全閉（）にします。

- ・夏季およびエンジンが暖まっている場合（停止直後の再始動）には、チョークレバーを全開（）にします。
- ・燃料切れした場合で温態時には、チョークレバーを全開（）にします。

(4)本機を硬くて平らな所に置きます。

(5)スロットルレバーを引いた状態にしてスロットルロックボタンを押し、スロットルレバーを離します。スロットルロックボタンは押し込まれたままの状態にロックし、スロットルレバーは若干引かれた状態になることを確認して下さい。

(6)リコイルスタータを勢いよく引きます。

エンジンは、リコイルスタータを2、3回引くと始動します。

始動後、チョークレバーはエンジンの調子をみながら徐々に全開（）にします。

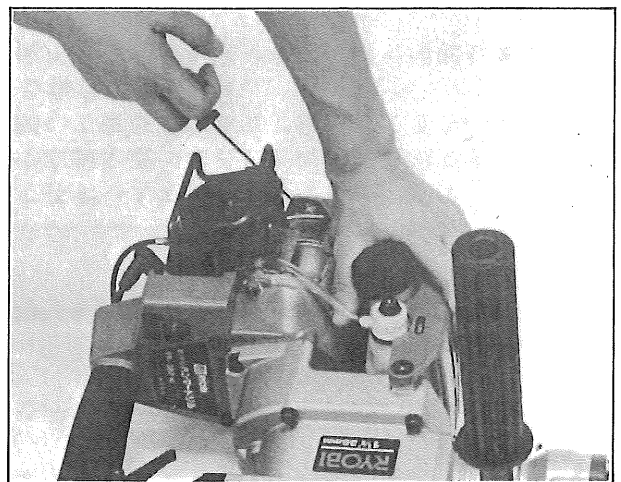
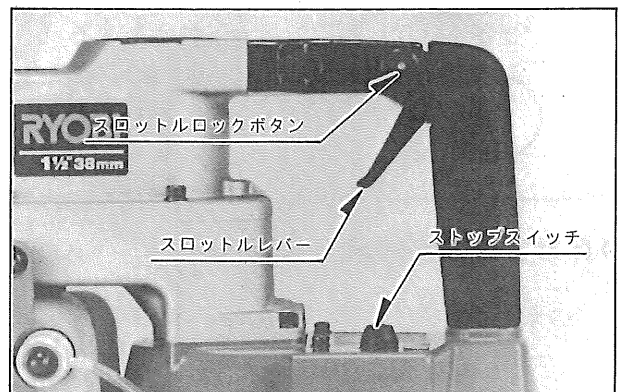
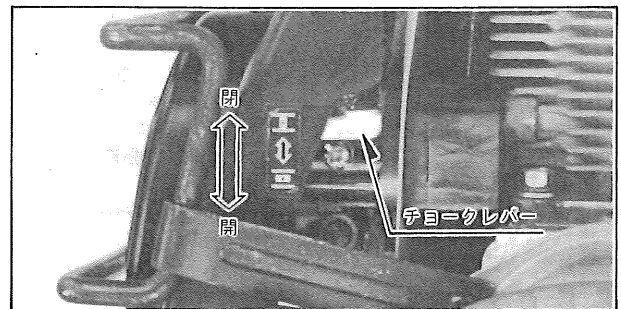
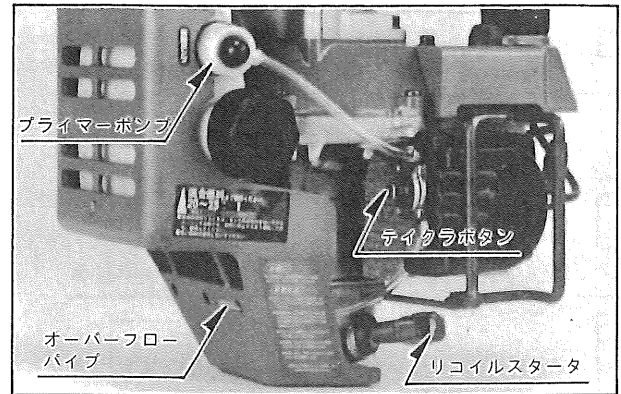
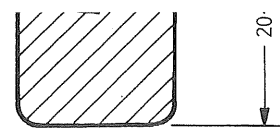
○運転と停止

・エンジンが始動したら3分間ぐらい、そのまま暖機運転をして下さい。

その後、スロットルレバーを徐々に握りエンジンの回転を上げてゆきます。（スロットルレバーを引くとスロットルロックボタンは解除されます。）

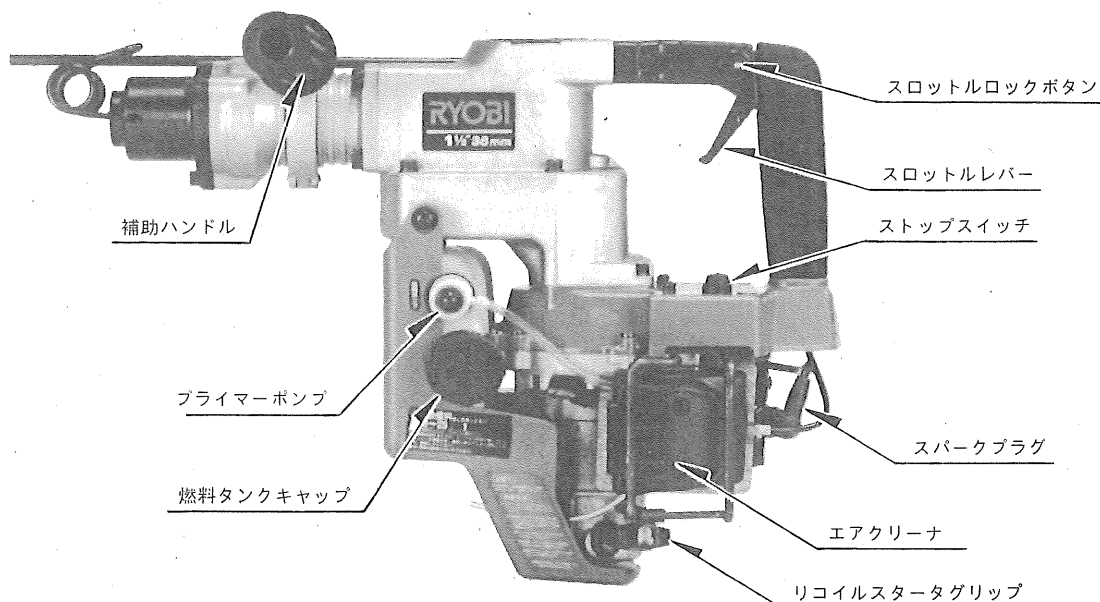
・エンジンを停止する時は、ストップスイッチをエンジンが止まるまで押します。

よく混ぜる⇒



スロットルロックボタンはエンジンの始動時のみに使して下さい。スロットルをロックしたまま使用してはいけません。

名称

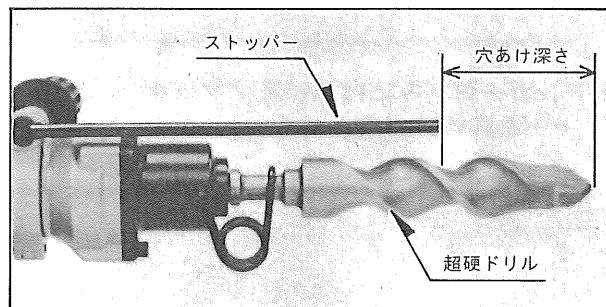


正しい操作方法

安全な服装・よく整備された機械で

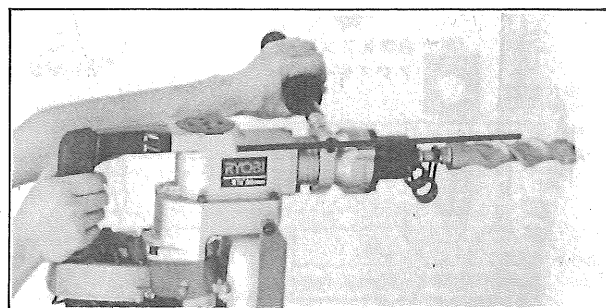
○ストッパー使用

- ・一定寸法に多数の穴あけを行う場合には、ストッパーを使用されますとスピーディに穴あけができます。
- ・補助ハンドルをゆるめてストッパーを移動させ、穴あけ深さに調整した後、補助ハンドルを締付けて下さい。



○穴あけ方法

- ・超硬ドリル先端を軽く加工材に当て、補助ハンドルとハンドルでしっかりと本機を固定して垂直に保った状態で、スロットルレバーを握ります。



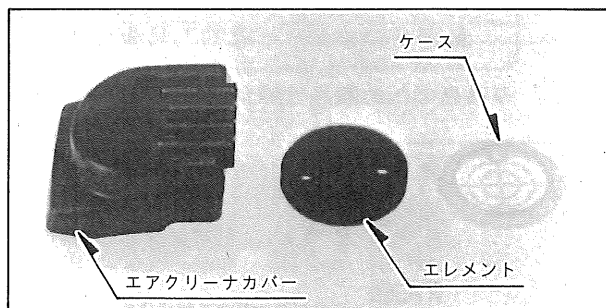
○寒冷地における使用について

- ・寒冷時の始動時において、打撃力が弱い場合があります。グリスが暖まるまで、数分間ならし運転をしますと、正常な打撃力となります。

点検と整備

○エアクリーナ

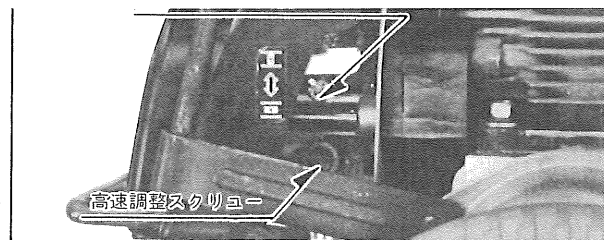
- ・エアクリーナのエレメントが目詰まりするとエンジンの出力が低下します。又、始動不良にもなりますので、使用前には汚れていないか確認して下さい。
- ・エアクリーナカバーを外し、エレメントを取り出し、ガソリンでよく洗浄し、固く絞ってからエンジンオイルに浸し、もう一度固く絞ってからケースに組み込みます。



○キャブレタ

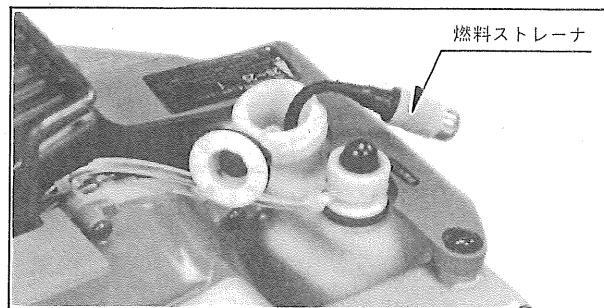


- スクリーを動かしてはいけません。
- 燃料調整の標準は、次のとおりになっています。
高速調整スクリー：2～3
この数値は、調整スクリーを右に静かに回し、全閉にした時からの戻しの回数を示します。
 - アイドリング調整スクリーは出荷時に調整してありますので、特に、調整の必要はありません。



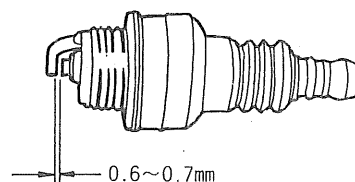
○燃料ストレーナ

- ストレーナがつまっているとエンジンの回転が上がらない原因になります。針金などを使ってストレーナを燃料注入口から引き出して点検、清掃して下さい。
- 点検、清掃後ゴムパイプが折れ曲がらない様にストレーナをタンク内に戻して下さい。
- この時、ストレーナがタンクの底についていることを確認して下さい。



○スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6～0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。



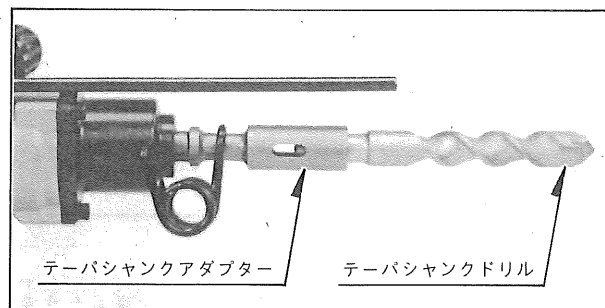
特別附属品(別販売)の使用方法

○テーパシャンクドリルの取付け方法

- テーパシャンクドリルのテーパ部をテーパシャンクのアダプターに差し込み、テーパシャンクドリルの先端を木ハンマー又は、木材のように軟い材料で軽くたたいて下さい。

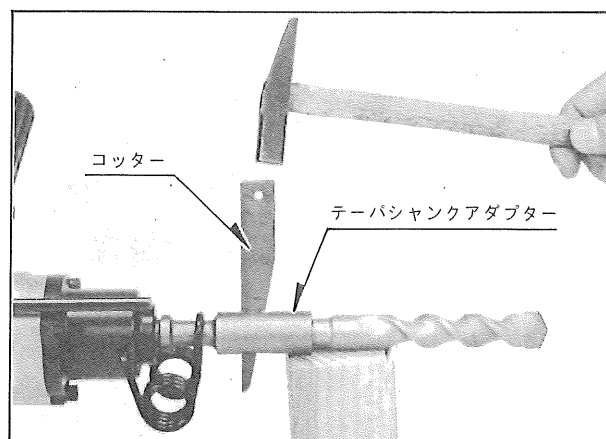
＜ご注意＞

テーパシャンクドリルとテーパシャンクアダプターのテーパ部をよくふいてから取り付けて下さい。



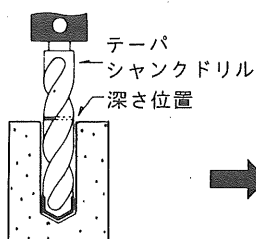
○テーパシャンクドリルの取り外し方法

- テーパシャンクアダプターの先端部に木材を敷いた後テーパシャンクアダプターの長穴にコッターを差し込み、コッターをハンマーで打込んで、テーパシャンクドリルを取り外して下さい。

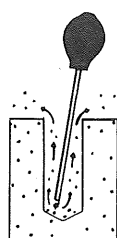


○アンカー打込穴(テーパシャンクドリルによる加工)

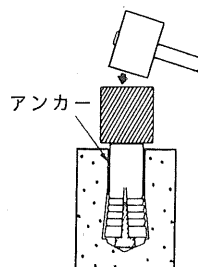
- ①テーパシャンクドリルでアンカーの深さまで穴をあけます。通常附属のストッパーを使用するか、あらかじめドリルにアンカーの深さまでの位置に印を付けておけば、正確な深さに穴あけができます。
- ②スボイドで穴の切粉を取除きます。
- ③穴があきましたらアンカー先にプラグを取付けて打ち込んで下さい。



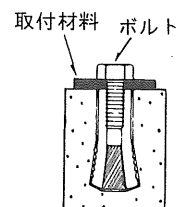
ドリルで深さ位置まで穿孔します。



スボイドで穴の切粉を取除きます。



アンカーの先にプラグを取付けて打ち込みます。



取付材料をボルトで締付けて固定します。

安全に注意して，正しく

ご使用前は

- ・ 服装はすそじまりをよくし、目、耳、等の防護具を使用して、軍手が厚手の手袋をはめましょう。ほこりの多い作業には、マスクが必要です。
- ・ 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- ・ 説明書をよくお読み下さい。子供や説明をうけていない人には運転させないようにして下さい。
- ・ 機械はいつもきれいにしておきましょう。特に燃料タンクのまわりはよく拭いて下さい。

ご使用中は

- ・ 始動したり、運転したりする時は周囲に充分注意して必ず一人で（補助者なしで）操作して下さい。
- ・ 機械の稼動部に不注意に手はもちろんのこと、身体や衣服を近づけることは大変危険です。
- ・ 本体は両手でしっかりとハンドルをにぎり、両足を開いて安定した体勢で使用して下さい。保持が確実にないと、反力で振り回され手首、指など怪我をする場合があります。
- ・ ビットは使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますとビットが抜けたり折損する場合があります非常に危険です。
- ・ 電気の配線がしてある箇所では使用しないで下さい。特に壁、床や天井などに穴あけをする前には電線が埋設されていないかどうか事前に十分おたしかめください。
- ・ 運転中はビットが熱くなっていますので、交換時等素手で触れないようにして下さい。
- ・ いかなる場合でも刃物部を人体の方向に向けることは非常に危険ですので絶対にしないで下さい。

安全な服装（手袋・すそじまりのよい）

仕 様

機 種			ER-382
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	433×220×320
高 さ	本機乾燥重量	kg	9.3
エ ン ジ ン	形 式		強制空冷2サイクル 単シリンダー
	排 気 量	cc	24.1
	キャブレタ		ダイヤフラム式
	点 火 方 式		電子点火方式
	スパークプラグ		NGK BM-6A
	始 動 方 式		リコイルスタータ
燃 料	混 合 比		(ガソリン)20~25:1 (2サイクル専用オイル)
	タンク容量	ℓ	0.45
回 転 数		R.P.M.	0~360
打 撃 数		回/分	0~3200
穴あけ 能 力	超 硬 ド リ ル	mm	Ø38
	コアービット	mm	Ø120

用 途

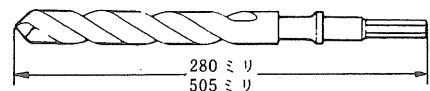
- コンクリート、ブロック、レンガ、タイルの穴あけ。
- コンクリートの破碎、平面仕上げ、角出し、溝切り。
- 土堀り。

通 常 附 属 品

ストッパー ・ 補助ハンドル ・ スチール
⊕ドライバー ・ スパナ ・ プラグレ

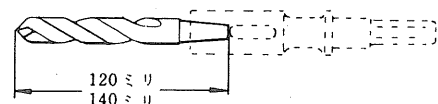
特別附属品(別販売)

●超硬ドリル



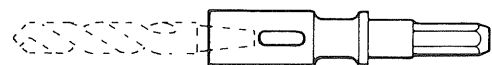
径(ミリ)
16
19
22
25

●テーパシャンクドリル (アンカー穴あけ用)



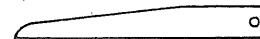
径(ミ)
11
12
14.3

●テーパシャンクアダプター



No. 1

●コッター (テーパシャンクドリル取外し用)

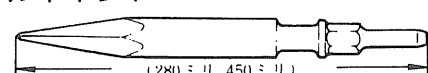


●アンカーアダプター(自穿孔)



サイズ

●ブルポイント(コンクリート・石材破碎用)



サイ

使用いただくために……

- ・作業を中断したり、移動する時は、必ずエンジンは停止しておきます。
- ・製品は大事に取扱ってください。誤って落としたりぶつけた場合は、すぐ止めて異常の有無を調べ、状況によって整備した後に使用するようにしてください。
- ・屋内で作業をする場合必ず、窓を開けるなど換気をよくして作業を行って下さい。

燃料について

- ・燃料は引火しやすいので注意して取扱いましょう。
- ・燃料補給や手入れをしている時には、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないで下さい。
- ・補給は必ず、エンジンを停止し、冷えてから実施して下さい。

ご使用後は

- ・機械全体を清掃します。
- ・ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗、キャブレタのまちがった調整などは色々な障害の原因になります。点検をし、完全に整備してからご使用下さい。
- ・長期間格納するときは、タンク内の燃料を抜いてからエンジンを始動させ、自然に停止するまで運転して下さい。停止後は安全できれいな場所に保管して下さい。
- ・補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

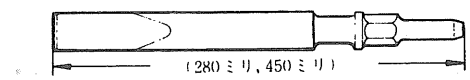
キャップを横にしておくと、ガソリン洩れを起す事がありますので、保管中は、必ずタンクのキャップ面が上に来るようにしておいて下さい。

防護眼鏡）・よく整備された機械で

- ス ・ ツールスプリング ・ スポイド
・ 六角棒スパナ ・ エアクリーナエレメント(1個)

(ミリ)	直径(ミリ)	全長(ミリ)
505	28	280
"	32	"
"	38	"
"		

● コールドチゼル(平タガネ)(切削・溝切り用)

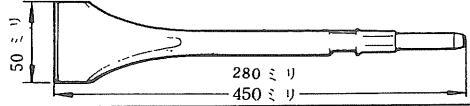


サイズ(全長)	280ミリ	450ミリ
---------	-------	-------



長さ(ミリ)	直径(ミリ)	全長(ミリ)
120	17.5	140
"	21.5	160
"		

● スケーリングチゼル(ハツリ・切削・面取り用)

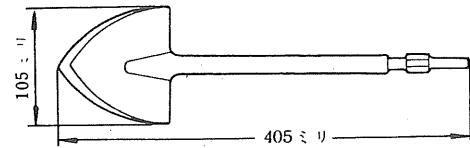


サイズ	全長	巾
	280・450ミリ	50ミリ



径 (ミリ)			No.1 No.2	直径(ミリ)
12	14.3	17.5		

● スコップ(土堀用)



サイズ	全長	巾
	405ミリ	105ミリ



5/16"	3/8"	1/2"	5/8"
-------	------	------	------

● コアービット

全長	148ミリ				
サイズ	45ミリ	54ミリ	79ミリ	105ミリ	120ミリ

● エジェクターキー



● センターピン

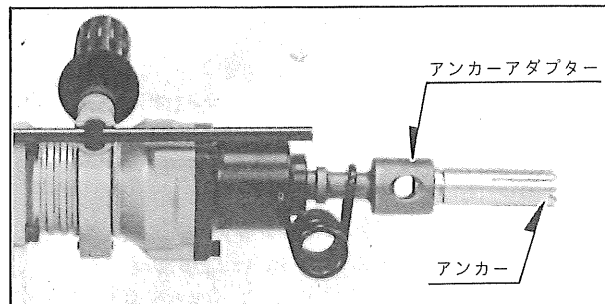
280ミリ	450ミリ
-------	-------



特別附属品(別販売)の使用法

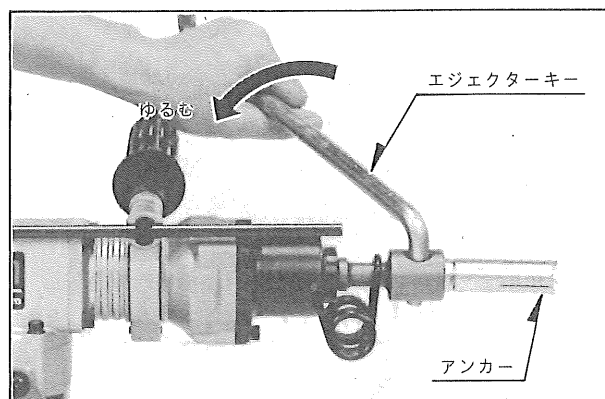
○ 自穿孔アンカーの取付け、打込み方法

- ・ 自穿孔アンカーの打込みは、特別附属品の自穿孔アンカーアダプター(回転+打撃用)をセットし、その先端に、自穿孔アンカーを取付けます。
- ・ 自穿孔アンカーアダプターにアンカーが取付きましたら下図の要領にて、アンカーで穿孔下さい。

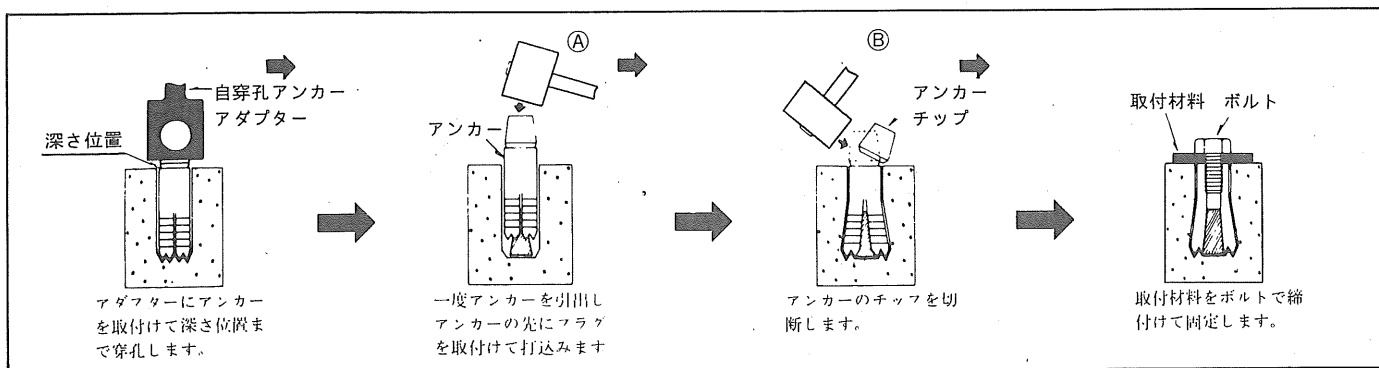
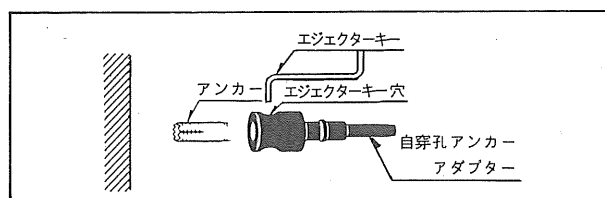


○ 自穿孔アンカーの取外し方法

- ・ 穿孔後、エジェクターキーを回し自穿孔アンカーアダプターとアンカーを分離します。
 - ・ アンカーを引出します。
 - ・ スポイドで穴の切粉を取除きます。
 - ・ アンカーの先にプラグを付けて再び打込みます。
 - ・ アンカーチップを取外します。
- 下図④→⑥参照下さい。



※アンカー打込みには自穿孔アダプター、エジェクターキーを同時にご購入下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合にはご遠慮なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、もしくはリョービ東和(株)営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ東和 株式会社

〒464 名古屋市千種区春岡通り7-49
電話(052)761-5111

製造元



リョービ 株式会社

2980004